

# 「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～最も問題が・・・「解決しない考え方」って？・・・～

「解決する考え方」ではなく「最も解決しない考え方」ってことは・・・解決しない場合には考え方に共通点があるってことなんでしょうか？その考え方をしなければ解決に近づくってことでは・・・

岸良裕司さんは、この通心でも紹介してきた稲盛和夫さん(京セラ・第二電電(現・KDDI)創業者。「盛和塾」塾長。一時経営破綻した日本航空の再建にリーダーシップを発揮するなど、日本経済に大きく貢献。令和4年8月に亡くなりました。)の下で活躍され、現在はゴールドドラット・コンサルティング日本代表を務められています。

京セラ在籍時、稲盛和夫さんは「私にできるのだから皆にもできる」と常日頃語っていた。

だが、僕は新入社員の頃、自分が稲盛さんのような凄い人になれるとは到底思えなかった。

でもある時、稲盛さんのような偉大な人が存在しているからには、必ず何かの理由があるはずだと考えるようになった。

要するに「あの人だからできる」という考え方を止めたのである。

「あの人だからできる」と定義すると……………

**学びがそこで止まってしまうからだ。**

大好きな京セラを飛び出したのは43歳。

現在様々な赤字企業や問題を抱えた組織の経営コンサルティングをさせてもらっている。

相談の中身はそれぞれに異なるが、何か問題があって、ずっと解決しないときには必ず1つの共通した症状がある。それは…“人のせいにする”ということだ。

「あそこの会社は力があるから…」「うちには人材がないから…」といったように必ず…

「〇〇のせいだ」という言葉がどこかに出ている。

いつも僕は同じ質問をする。…「**人のせいにして問題は解決しますか？**」

世の中の誰に尋ねても……………「**しない**」と口をそろえて答える。

にもかかわらず、我々は人のせいにしがちで、その結果、問題を放置してしまう。

見方を変えれば、その症状があったら、そこに改善のチャンスがあるということだ。

**最も非生産的で問題が解決しない考え方は、「人のせいにする」ということではないだろうか。**

かつての僕がそうだったように、自分の思うような仕事や部署に就けず、悶々としている人は少なくな  
いだろう。

だが、仕事というものは「**自分がいたら助かる**」という部分を見つけるところから始まるのだと思う。

そして、**それは必ず見つけられる。職場には必ず困っているところがあるからだ。**

「1日1話、読めば心が熱くなる365人の仕事の教科書」（致知出版社）

動機善なりや、私心なかりしか

京セラ株式会社 名誉会長  
KDDI株式会社 最高顧問 稲盛 和夫



仕事を・・・高校生や学校生活に置き換えてみてはどうでしょう。  
社会・120年という歴史を刻み続けているこの県立伊丹高等学校・  
学年・クラス・部活動・家族の一員として「**自分がいたら助かる**」とい  
う部分を見つけてみませんか。

岸良さんは「**それは必ず見つけられる。必ず困っているところがあるからだ。**」  
とおっしゃっていますよ。

「自分がいたら助かる」・・・言い方を変えると・・・「ありがとう」を・・・

助かります

